

公式試合記録



公益社団法人
日本ホッケー協会

大会名：第51回全国高等学校選抜ホッケー大会

試合番号 12	備考 男子2回戦	年 2019	月 12	日 22	時間 12:40	場所 川崎重工ホッケースタジアム	ピッチ B
------------	-------------	-----------	---------	---------	-------------	---------------------	----------

チーム名 岐阜県立可児工業高等学校	合計 2 - 6	チーム名 富山県立石動高等学校
	1 Q 0 - 2	
	2 Q 0 - 0	
	3 Q 0 - 3	
	4 Q 2 - 1	
	S O -	

先発	背番号	氏名	G▲	Y■	R●
✓	1 GK	八木 祥馬			
✓	2	森 雄哉			
✓	3	水野 眞尚斗			
39	4 C	田中 良樹			
✓	5	井口 颯麻			
✓	6	尾関 壘斗			
54	7	土佐 悠人			
✓	8	石田 州都			
✓	9	上野 愁也			
✓	10	額額 悠馬			
✓	11	松久 蓮太郎			
✓	12	渡邊 天佑			
9	13	前島 大輝			
	14	黒田 凌生			
✓	15	森 皓都			
19	16	渡邊 陵			
45	17	佐光 唯斗			
48	18	板倉 汰知			

先発	背番号	氏名	G▲	Y■	R●
1 ✓	1 GK	上埜 舞路			
2 ✓	2	柴田 悠希			
3 ✓	3	前田 陽太			
4 ✓	4	高橋 慶伍			
5 ✓	5	松田 数翔			
6	23	最上 隼登			
7	16	竹崎 愛翔			
8 ✓	8	石川 創			
9 ✓	9	齋藤 容			
10 ✓	10 C	丸山 彦樹			
11 ✓	11	中島 丞一郎			
12	9	西田 耕陽			
13	8	関野 晃伽			
14 ✓	14	中田 瑞輝			
15 ✓	15	作田 寛明	29		
16	9	長谷川 将太			
17	9	島津 空			
18	16	長谷川 拓真			

時間	No.	種類															
56	8	FG															
60	15	FG															

種類:FG - Field Goal / PC - Penalty Corner / PS - Penalty Stroke

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順番	守備者	先・後	S O 戦	先・後	守備者	順番	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
										No.					No.											
										○/×					○/×											

SO 戦	時間	チャレンジ	時間	SO 戦

チャレンジ:成功 / ○ - 不成功 / × - No advice / N

監督	大野 壮太	大野 壮太
アンパイア	西澤英一郎	西澤英一郎
R.アンパイア	伊藤幸子	伊藤幸子
S.アンパイア		
ジャッジ	遠藤博行	遠藤博行
T O	竹内芳郎	竹内芳郎

監督	坪内 一浩	坪内 一浩
アンパイア	大和田康一	大和田康一
S.アンパイア		
ジャッジ		
ジャッジ	矢ノ下麻実	矢ノ下 麻実
特記事項		

第3試合

$$\text{可児工業高校} \quad 2 \quad \begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 0 & -0 \\ 0 & -3 \\ 2 & -1 \end{pmatrix} \quad 6 \quad \text{石動高校}$$

<p>得点</p>	<p><可児工業>56分#8石田・60分#15森</p>		
	<p><石動>3分#9齋藤・13分#16長谷川・33分#10丸山・37分#15作田・40分#17島津・49分#11中島</p>		
<p>戦評</p>	<p>石動高等学校のセンターパスにより第1Qが開始された。開始早々、石動がPCを獲得し、#8石川が強烈なドラックを放つも可児工業高等学校のDFの好セーブに阻まれる。2分石動#11中島のセンタリングを#9齋藤が合わせ先制点を挙げる。さらに13分石動#16長谷川将が確実にプッシュシュートを決め相手を突き放し、2-0で第1Q終了。</p> <p>第2Q、石動の猛攻が続きシュートチャンスを作る。対する可児工業は前線にボールを送るが繋がらない。24分石動#15作田がサークルトップからフリーでシュートを放つが得点には至らない。試合終了間際、両チームPCを取得するも得点には至らず、2-0のまま前半が終了。</p> <p>第3Q、33分プレスカットから石動#10丸山が落ち着いてプッシュシュートを決め、続く37分#15作田、40分#17島津が決める得点を重ねる。可児工業もパスを繋ぎサークルインするもシュートを打ち切ることが出来ず、第3Qが終了。</p> <p>第4Q、49分石動#11中島がPCのリバウンドを決め6-0とする。55分、可児工業がインターセプトからカウンターを仕掛け最後は#8石田がゴール右にシュートを決め一点を返す。勢いに乗った可児工業は終了間際#8石田の速いリスタートからサークル内にボールを打ち込み#15森が華麗なタッチシュートを決めるも、そのまま試合が終了。6-2で石動高等学校が勝利し、準々決勝戦に駒を進めた。</p>		
<p>テクニカルオフィサー</p>	<p>竹内芳郎</p>	<p>アンパイア</p>	<p>西澤英一郎</p>
<p>ジャッジ</p>	<p>遠藤博行・矢ノ下麻実</p>		<p>大和田康一</p>